

ねば數回行ふも可なり。何回行ひても舎監の權威に關することなし。入學のとき身體検査を嚴重に行ひて怪しきものは入學せしめぬことに致し度し。緩くして入學せしめて血を吐くまで寄宿舍に置いては傳染の媒介をするやうなものではないか。私の娘は彼の寄宿舍で肺病になつたと謂はれたら何と答へませうか。人の子を預かる以上は極力その健康を保證する方法を講じなければ世の中に對して申譯なき次第にはあらざるか。

一木文相の訓示

各府縣郡視學講習會に於ける一木文相の訓示要領下の如し。

國際競争に於て優位を占むると否とは國家の實力如何にあり。而して國家の實力は健全なる國民精神の活動と其の物質的文明の發達とに俟たざるべからず、而も是等實力の培養は主として普通教育の發達學何に存す。國際競争に堪ふる國民は身體も精神も共に剛健にして忍耐持久の性に富まざるべからざるを以て學校衛生の如き其の最良手段たり。又國富を圖らんが爲めには實業教育の振興を圖らざるべからず云々。

衛生思想普及策

内務省は五年度豫算を以て衛生參考諸材料を購入し、之を各府縣巡回貸付の方法により、衛生思想普及の講話會又は展覽會を開かしむる計畫ありといふ。

是れ我輩の双手を舉げて賛する所なり。我國の西洋文化に接したるは醫術の媒介によれり。支那に對して拙き外交をなすよりも隣邦の交誼を理解せしむるは醫者の輸出にあり女醫の輸出にあり。

學問獨立の好機

歐洲大戰役後に於ける我國の科學研究方針に關し、福原文部次官は曰く、今次の大亂に由り文政上最も切實に感ずる點は、我國の科學振興を圖るの必要是也、今回の戦争は一面より觀れば確に科學の競争也、獨逸品の輸入杜絶が我學術界又は工業界に影響する所少からざるは勿論、戦争終局後に於ても當分我國は獨逸兩國より何物をも學び得ざる事は豫じめ覺悟せざるべからず。されば將來は大に自國の學術研究機關を完備し、學問の獨立を企圖せざるべからず、學問の獨立は即ち商工業の獨立也、商工業の發展は先づ學術研究に其基礎を措くを要す。